



熊石もり情報

国民の森林・国有林

第15号
平成20年10月

発行 住所 電話	檜山森林管理署熊石森林事務所 二海郡八雲町熊石雲石町180-3 01398-2-3056
----------------	--

ドングリをまきました 関内小学校

十月十六日、関内小学校において、ドングリをまくことを目的に授業を行いました。ドングリは児童たちがあらかじめ拾って置いて、二三日水につけておいてもらったものを使用しました。

一口にドングリといってもいろいろあり、ふだんよく見かけるミズナラのドングリの他に、ブナの実やコナラのドングリを見せ、その違いを観察しました。ブナの実には三角形をしており、毛で覆われた殻斗（ドングリでいうところの帽子）があります。コナラは熊石ではあまり見かけませんが、ミズナラよりも少し小さく、先が丸い形をしています。

また、どんぐりをよく見ると小さな穴が空いているものがあります。これは「ゾウムシ」や「チヨッキリ」という虫が空けたもので



す。これらの虫はドングリの実がまだ小さく、柔らかくて若い時期に小さな穴を空けて卵を産み付けます。それが孵化し、大きくなったドングリの実を食べながら成長し、十分に大きくなったところで中から穴を空けて出てくるのです。つまり、空いている穴は出てきた穴で、ドングリの殻をむいてみると中に



まだ小さな虫がうごめいています。水につけておいたものはすぐに死んでいるので、被害がひどくなければまだ使うことができます。そこでまぐ前に水に浮くものや、小さかったり、穴が空いていたりするものを取り



り除き、丈夫な実をみんなで選別しました。その後、ブナやコナラのドングリも一緒に学校の裏にまきました。きっと来年になれば芽が出て、児童たちを見守るような大きな木に成長していくことでしょう。

植林をおこないました

十月に熊石の国有林に植林を行いました。場所は雲石峠や平田内三箇所あり、面積は全部で6.34haです。植えた木はトドマツで、hあたり3,000本植えたので、合計19,050本の苗木が植えられました。これらの苗木は数十年かけて大きく成長する中で、たくさん二酸化炭素を吸収してくれます。そのため地球温暖化防止に大いに役立ち、きちんと管理を行うことで森林の機能をより発揮できるようになります。

